



学校の様子・風景

9月2日(金)

上岩出小学校の学校生活の様子をお知らせします。

◆9月1日(木)から、9月28日(水)の約一ヶ月間、二人の教育実習生が来ます。4年生と5年生のクラスで実際の学校現場について勉強します。皆さんも、早くこの先生たちと仲良くなって下さいね。



のびのび・すくすく学級

◆のびのび・すくすく学級です。2学期が始まり、それぞれ1学期の復習もしながら勉強を進めていました。1年生が数の並び方の勉強をしていました。低学年は、具体物を自分で操作しながら勉強をすることがとても大切です。1から20までの数字の並び方を実際にカードを使って視覚的に確認しながら勉強を進めていました。しっかりとお友達の発表を見ています。どの子も頑張っていますね。



1・2・3年生

◆1年生です。図工の時間に画用紙いっぱい大きな魚を書いて色を塗っていました。座って塗る子、立って全体を見ながら塗る子と自分流に色を塗っていました。先生が、塗り方の工夫を聞いていました。周りの子も手を止めて鑑賞します。子供たちの作品のよいところを先生が、見つけてすぐに認めてあげることがとても大切です。子供たちも自己肯定感を持つことができます。一人一人を認められる上小の先生は、素晴らしいですね。



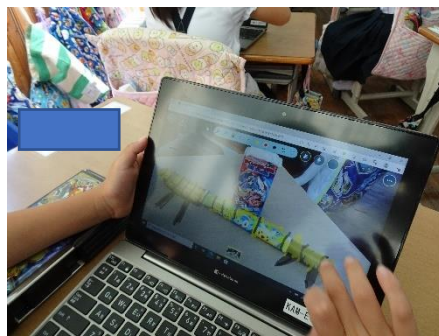
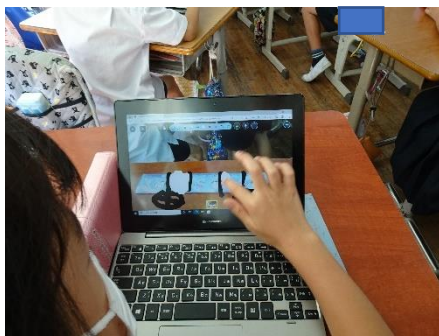
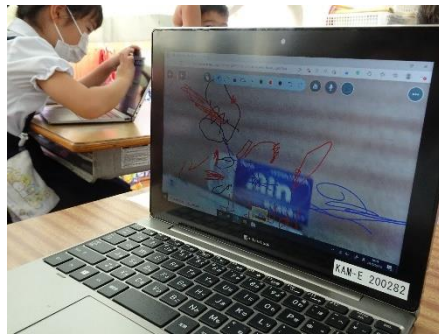
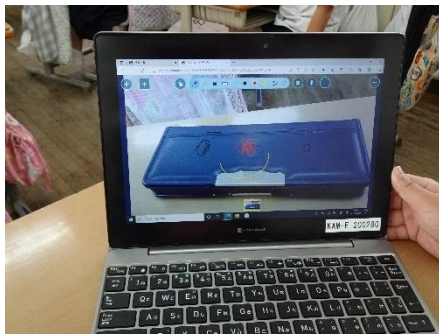
◆5年生担任の先生が、1年生のパソコンを教えに来てくれました。自分のIDを入力しました。今日は、自分の持っている文房具の写真を撮って、お絵かきの練習をしました。先生が、わかりやすいように上手に説明してくれたので、1年生のお友達は、どんどん自分で操作することができました。



自分の撮った鉛筆や筆箱にこんなふうに足とか、シッポとか描いてみようか。

えっー！

おもしろそう！



◆みんな、思い思いの顔や手足などを描いていました。タブレットを使うと、色も自由自在に選ぶことができ、消すことも簡単にできます。みんな、上手に操作しているのでびっくりしました。



◆2年生です。音楽の時間では、ドレミ等、音の高さの勉強をしていました。「ドレミのうた」に合わせて身体を動かしました。最初は、手をつま先に、次は、ひざに、最後は、手を高く上げて、「さあ、うたいましょう〜♪」身体を使って、音の高さを表現しているんですね。さすが、音楽の先生！上手に指導してくれていました。



◆図工の時間です。自分の手に絵の具をつけて、画用紙にいろいろな物を表現していました。ある子は、「散歩したところ。」「これは、かにだよ。」と、自分の作品を見せてくれました。手で絵を描いたことがとても楽しかったようです。



◆3年生の教室では、お友達の誕生日をお祝いしていました。マジック係さんが、トランプを使って手品を披露してくれました。友達の選んだカードを、見事当ててくれました。どうして当てることができるのか。手品のからくりが分かりません。子供たちが、楽しく活動できる時間を作ってくれる先生が素晴らしいですね。



4・5・6年生

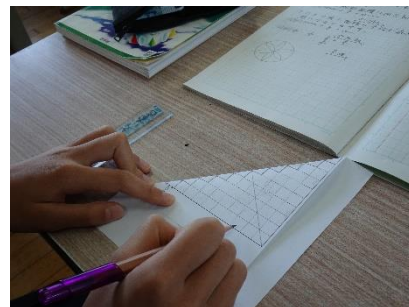
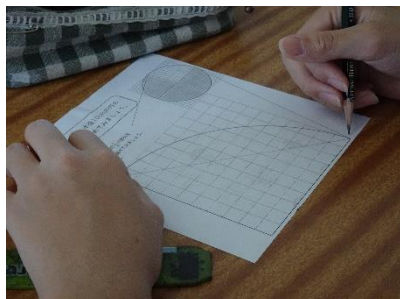
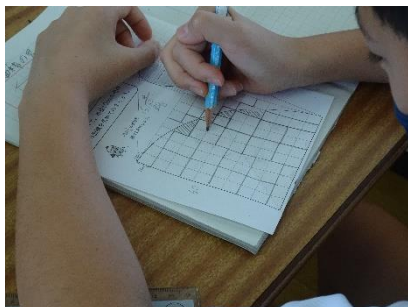
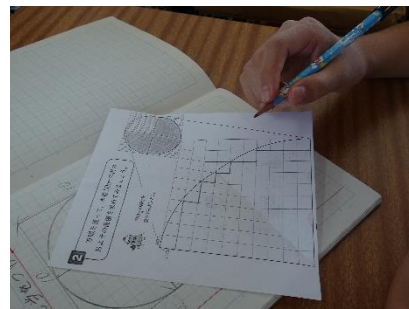
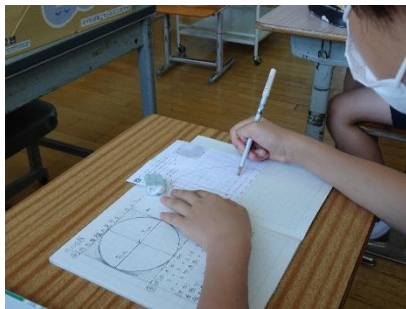
◆5年生の算数です。授業の最初にカードを使って、ゲームのように子供たちの興味を引きつけていました。一桁から、三桁まで「奇数」か、「偶数」かを考えました。先生が、「数字のどこを見たらいいのかな？」と投げかけると、「一の位を見たらいい。」と、発表してくれました。みんなが、合点。授業の最初から、子どもの興味を持たせる先生の手腕が素晴らしいですね。



◆家庭科の授業です。ミシンの糸かけについて勉強していました。動画をよく見て、何回も自分でミシンに糸を掛けています。9月29日には、ボランティアの皆さんが、来てくれます。それまでに自分で糸を掛けることができるように頑張ってください。



◆6年生です。算数の授業では、円のおよその面積を求めるためにまず、4分の1の形の面積を求めていました。1cmの方眼を一つずつ数える子、曲線になっているところだけを区切って考える子、折ったり、線を書く子等いろいろ考えていました。考える時間をたっぷり取って、自分で考えさせることを重視している先生が素晴らしいですね。教師が、教えたら簡単ですが、子供たちが、自分で試行錯誤して答えを見つけることが大切です。どうやったら答えまでたどり着くのか自分で考えさせ学ばせる、その積み重ねが生きる力に繋がると思います。



◆理科の授業です。「水よう液の性質」の学習をしていました。単元の学習のめあては、『いろいろな水よう液のはたらきや性質を調べよう』です。①食塩水 ②炭酸水 ③うすい塩酸 ④重そう水 ⑤うすいアンモニア水 をどうやったら区別することができるのか違いを探ります。

見る、匂いを嗅ぐ、蒸発させてみる等、今までに学習したことを基に5つの水溶液のちがいを見つけます。



◆蒸発させても何も残らなかった水よう液には、何が溶けているのか疑問が残ります。炭酸水には、二酸化炭素が溶けていることを二酸化炭素の性質をつかって実験をしていました。

①二酸化炭素は、石灰水を白く濁らせる性質があるよ。

②火の付いたろうそくを入れると、火が消えるよ。

この二つの性質をもとに実験をし、炭酸水には、二酸化炭素が溶けていることが分かりました。

二酸化炭素を取り出す



試験管に入れると線香の火が消えたよ。



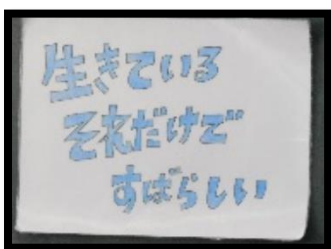
試験管に石灰水を入れふると白く濁ったよ。





◆4年生は、8月26日（金）に、2年生は、8月30日（火）に『命の授業』を行いました。岩出市の保健師さんたちが、各学年に合わせた内容で命の大切さを教えてくださいました。

◆2年生です。赤ちゃんが、どのように大きくなっていくのか、どれぐらいの重さ、大きさなのかを人形を使って実際に体験しました。みんな、小さな命を大切に抱っこしています。お母さんのおなかにいる時の大変さも体験しました。



◆「生きている それだけで すばらしい！」このことを、一人一人に教えてくださいました。学習後の感想です。

いのちは、どうでもいいと思っていました。でも、今日のじゅぎょうで、いのちがこんなにだいじだとわかったから、これからは、いのちをだいじにしていこうと、おもいました。
(Iさん)

おかあさんは、わたしたちがうまれるまえ、こんなにたいへんだったんだなと思いました。わたしも、赤ちゃんをうむとき、たいへんなのがわかりました。早く大人になって赤ちゃんがうまれるのが、たのしみです。(Aさん)

3か月のあかちゃんが、おなかにいるベストをきました。思ったより、おもたかったのでびっくりしました。10か月で、出てきたあかちゃんも、とてもおもかったです。先生のおしえかたがわかりやすかったです。男の子と、女の子のちがいがいもわかったし、からだのようすもよくわかりました。(Tさん)



◆4年生です。4年生は、2年生と内容が少し違って、「みんなにとって、たいせつなものは、なにかな？」という質問から授業が始まりました。

針の先で、黒い折り紙に穴を開けました。この大きさが、命の始まりと教えてくれました。みんな、だんだん大きくなっていく赤ちゃんを大切に手に抱っこしました。



◆自分の心臓の音を、聴診器で聞きました。生きていることを、自分で確かめることができました。生きていることは、自分にとって当たり前のことになってしまい、普段こんなふうに深く考えることはありません。保健師の皆さんのおかげで命の大切さを知ることができました。



ぼくが、生まれてきたのは、きせきなんだなと思いました。これからも、生きるじしんをもってがんばりたいと思いました。 (Iさん)

命は、とても大切だなと思った。理由は、お母さんやお父さんが大事に私たちのことを育ててくれたし、命は、一つしかないから、命がなくなったらもう、生きることができない。だから、命は、とても大切だなと思った。 (Mさん)

赤ちゃんは、10か月で3000グラムになることがわかりました。さいごに、みんな、一人一人が大事なそんざいで、生きているそれだけで素晴らしいこと。自分を好きになろうということ。一人じゃないが心にのこりました (Yさん)

今日のお話を聞いて、命は、とてもたいせつなものだとわかりました。その小さな命が、大きなキセキなんだなと思いました。あんなに小さな命が、今は、こんなに大きくなっていて感どうしました。今日、おしえてくれた「みんな一人一人が大事な存在。生きているそれだけで素晴らしい。自分のことを好きになろう。一人じゃあない。」という言葉をこれからも大切にします。ありがとうございました。 (Yさん)

今の私たちが、大切にしなければならないことを丁寧にわかりやすく教えて下さいました。本当にありがとうございました。

